

[ 条例施行規則64条関係 (500 t 以上1000 t 未満排出事業者用) ]

(様式第33号) (第64条関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 5 年 6 月 30 日	
(宛先) 長野市長 殿	
提出者	
住 所 新潟県新潟市中央区万代4丁目5番15号	
氏 名 株式会社加賀田組 新潟支店	
執行役員支店長 金子 文信	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 025-247-8185	
産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画について、長野市廃棄物の適正な処理の確保に関する条例第79条第1項の規定により提出します。	
事業場の名称	株式会社加賀田組 新潟支店
事業場の所在地	新潟県新潟市中央区万代4丁目5番15号
計画期間	令和 5年 4月 1日 ~ 令和 6年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06 総合工事業 (総合建設業)
② 事業の規模	元請完成工事高 217億円
③ 従業員数	236人
④ 産業廃棄物の一連の処理工程	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 廃プラスチック 再生処理業者へ委託→再資源化 最終処分業者へ委託→埋立処分</li><li>・ 木くず 再生処理業者へ委託→再資源化 中間処理業者へ委託→焼却</li><li>・ 金属くず 再生処理業者へ委託→再資源化</li><li>・ コンクリートくず 再生処理業者へ委託→再資源化 最終処分業者へ委託→埋立処分</li><li>・ アスファルト・コンクリート破片 再生処理業者へ委託→再資源化</li><li>・ 混合廃棄物 中間処理業者→分別、再資源化 最終処分業者へ委託→埋立処分</li></ul>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

```

    graph LR
      A[内部監査室] --> B[土木部]
      A --> C[建築部]
      A --> D[舗道部]
      B --> E[作業所群]
      C --> F[作業所群]
      D --> G[作業所群]
    
```

役割

内部監査室：・廃棄物処理方針の策定 ・廃棄物管理ルールの方策定 ・廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認、監視  
 施工部：・産業廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ・処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理  
 作業所群：・廃棄物処理計画の作成  
 ・委託契約の締結  
 ・産業廃棄物管理票の交付、管理  
 ・監督官庁への各種報告  
 ・関連会社に対する教育、啓発

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

		【前年度（令和 4 年度）実績】					
産業廃棄物の種類		廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	木くず	金属くず	がれき類(コンクリ リガラ、廃アス	建設混合廃棄物(安定型、管	
①現状	排出量	16.13t	251.08t	1.47t	639.87t	11.73t	
	産業廃棄物の種類						
	排出量						
	(これまでに実施した取組) 過大な梱包材は作業所に持ち込まない。						
		【目標】					
産業廃棄物の種類		廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	木くず	金属くず	がれき類(コンク リガラ、廃アス	建設混合廃棄物(安定型、管	
②計画	排出量	14.51t	225.97t	1.32t	575.88t	10.55t	
	産業廃棄物の種類						
	排出量						
	(今後実施する予定の取組) 上記に加え、材料ロスを削減することに注力する。						

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック、木くず、金属くず、コンクリート殻、アスファルト殻の分別を実施
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記の分別の徹底に加え、混合廃棄物の削減を目指す。

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和 4 年度）実績】						
産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	木くず	金属くず	がれき類(コンクリ リガラ、廃アス	建設混合廃棄物(安定型、管	
①現状	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量					
	産業廃棄物の種類					
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量					
	(これまでに実施した取組) 実施していない					
【目標】						
産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	木くず	金属くず	がれき類(コンクリ リガラ、廃アス	建設混合廃棄物(安定型、管	
②計画	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量					
	産業廃棄物の種類					
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量					
	(今後実施する予定の取組) 予定なし					

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和 4 年度）実績】						
産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	木くず	金属くず	がれき類(コンクリ リガラ、廃アス	建設混合廃棄物(安定型、管	
①現状	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量					
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量					
	産業廃棄物の種類					
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量					
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量					
	(これまでに実施した取組) 実施していない					
【目標】						
産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	木くず	金属くず	がれき類(コンクリ リガラ、廃アス	建設混合廃棄物(安定型、管	
②計画	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量					
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量					
	産業廃棄物の種類					
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量					
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量						
(今後実施する予定の取組) 予定なし						

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項							
①現状	【前年度(令和4年度)実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール等)	木くず	金属くず	がれき類(コンクリがら、廃アスファルト、レンガ)	建設混合廃棄物(安定型、管)	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						
(これまでに実施した取組) 実施していない							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール等)	木くず	金属くず	がれき類(コンクリがら、廃アスファルト、レンガ)	建設混合廃棄物(安定型、管)	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
(今後実施する予定の取組) 予定なし							

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール等)	木くず	金属くず	がれき類(コンクリがら、廃アスファルト、レンガ)	建設混合廃棄物(安定型、管)	
	全処理委託量	16.13t	251.08t	1.47t	639.87t	11.73t	
	優良認定処理業者への処理委託量	16.10t	12.82t	1.47t	7.96t	11.73t	
	再生利用業者への処理委託量	16.13t	251.08t		639.87t		
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
	産業廃棄物の種類						
	全処理委託量						
	優良認定処理業者への処理委託量						
	再生利用業者への処理委託量						
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
(これまでに実施した取組) 産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を締結している。 再生利用可能なすべての廃棄物は、再生利用業者へ処理を委託している。							

②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡 スチロール等)	木くず	金属くず	がれき類(コンク リガラ、廃アス ファルト、レンガ)	建設混合廃棄 物(安定型、管 埋型)	
	全処理委託量	14.51t	225.97t	1.32t	575.88t	10.55t	
	優良認定処理業者への処理委託量	14.51t	225.97t	1.32t	575.88t	10.55t	
	再生利用業者への処理委託量	14.51t	225.97t	1.32t	575.88t	10.55t	
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者へ処理委託量						
	産業廃棄物の種類						
	全処理委託量						
	優良認定処理業者への処理委託量						
	再生利用業者への処理委託量						
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者へ処理委託量						
	(今後実施する予定の取組) 各作業所で建設産業廃棄物の発生抑制に努める。 優良認定処理業者への委託を積極的に進める。						
	※事務処理欄						

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が12以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。  
また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 1

産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処 理 事 項		産 業 廃 棄 物 の 種 類											
		廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール)	木くず	金属くず	がれき類(コンクリがら、廃アスファルト)	建設混合廃棄物(安定期、管理型)							合 計
排出抑制に関する事項	前年度排出量(実績)	16.13t	251.08t	1.47t	639.87t	11.73t							920.28t
	本年度排出量(計画)	14.51t	225.97t	1.32t	575.88t	10.55t							828.23t
自ら行う(行った)再生利用に関する事項	前年度実績												
	本年度計画(目標)												
自ら行う(行った)中間処理に関する事項	自ら行う(行った)熱回収の量	前年度実績											
		本年度計画(目標)											
	自ら中間処理により減量する(した)量	前年度実績											
		本年度計画(目標)											
自ら行う(行った)埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	前年度実績												
	本年度計画(目標)												
処理の委託に関する事項	全処理委託量	前年度実績	16.13t	251.08t	1.47t	639.87t	11.73t						920.28t
		本年度計画(目標)	14.51t	225.97t	1.32t	575.88t	10.55t						828.23t
	優良認定処理業者への処理委託量	前年度実績	16.10t	12.82t	1.47t	7.96t	11.73t						50.08t
		本年度計画(目標)	14.51t	225.97t	1.32t	575.88t	10.55t						828.23t
	再生利用業者への処理委託量	前年度実績	16.13t	251.08t		639.87t							907.08t
		本年度計画(目標)	14.51t	225.97t	1.32t	575.88t	10.55t						828.23t
	認定熱回収業者への処理委託量	前年度実績											
		本年度計画(目標)											
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績											
		本年度計画(目標)											

【記載方法】

- 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績（現状）を、下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。